流山市
Nagareyama City

洪水ハザードマップ

流山市土木部河川課
電話：04-7150-6095
E-mail：kasen@city.nagareyama.chiba.jp
令和7年10月作成

内水ハザードマップは左記QRコードよりご確認ください。

土砂災害ハザードマップは左記QRコードよりご確認ください。

左記QRコード（ちば情報マップ）より最新の土砂災害警戒区域等を確認できます。

QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

我が家の防災メモ（災害時の主な連絡先）

避難場所	
集合場所	
緊急連絡先（親戚・知人等）	

家族の連絡先	氏名	生年月日	血液型	会社・学校等の住所	電話番号

気象情報

気象情報の種類と発表基準

大雨浸水・河川氾濫・土砂災害・高潮	
特別警報	重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表する予報
警報	重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
注意報	災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、市町村長が避難指示等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報
記録的短時間大雨情報	数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報

こんなときは注意

台風

日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にあっています。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

線状降水帯・集中豪雨・局地的大雨

線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした積乱雲群によって、数時間にわたりほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、強い降水をともなう線状の雨域です。集中豪雨とは、線状降水帯などの原因により同じような場所で数時間にわたり強く降る雨のことです。
局地的大雨とは、単独の積乱雲が発達することによって、数十分の短時間に狭い範囲に急に強く降る雨です。

土砂災害

流山市には令和7年4月1日時点では52箇所の土砂災害警戒（特別警戒）区域があります。これらの地域は台風や集中豪雨・地震によって大きな被害を受けることが考えられますので、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域をハザードマップで確認し、地域ぐるみで十分な注意をしましょう。

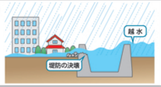
雨の強さと降り方（1時間の雨量：mm）

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
「やや強い雨」	「強い雨」	「激しい雨」	「非常に激しい雨」	「猛烈な雨」
ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞き取れない。	どしゃ降り。地面一面に水たまりができる。	バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになる。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなる。傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。視界が悪くなる。

外水氾濫と内水氾濫

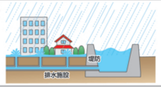
外水氾濫

河川の氾濫により発生する浸水

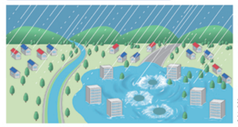


内水氾濫

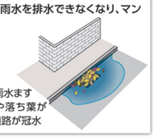
河川に排水しきれずに発生する浸水



内水氾濫による被害例



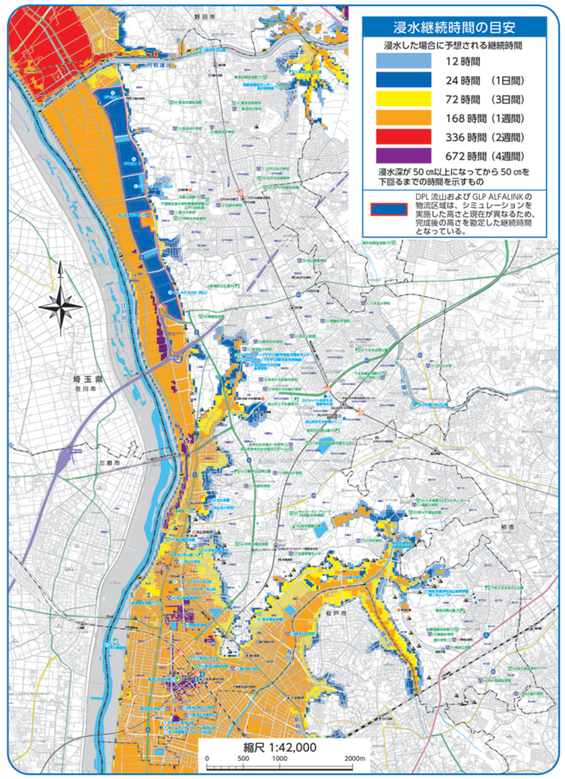
内水氾濫とは、降った雨が雨水排水施設の処理能力を超えて、排水先である河川などの水位が上がっている時に雨水を排水できなくなり、マンホールや側溝及び水路などから水があふれて、道路や敷地が浸水することをいいます。



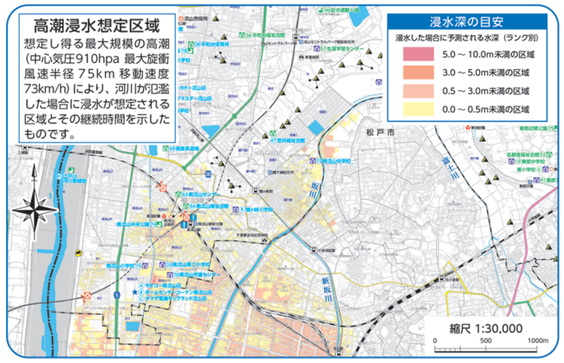
想定外雨量・河川からの逆流・雨水排水能力不足

側溝や雨水ますにごみや落ち葉が詰まり道路が冠水

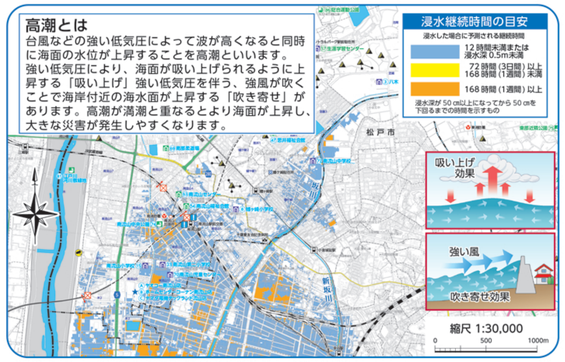
浸水継続時間



高潮浸水想定区域図



高潮浸水継続時間



防災気象情報

市が出す避難情報と国や県が出す防災気象情報

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いて、避難情報を発令します。
警戒レベル3【高齢者等避難】や警戒レベル4【避難指示】が発令された際には、危険な場所から速やかに避難行動をとりましょう。

※各種の情報は警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

情報収集

流山市からの情報

流山市公式LINE（ライン）
災害情報や感染情報などの情報を受け取ることができます。受信設定から「災害・火災・インフラ」のカテゴリを登録して下さい。
https://lin.ee/jTbIHtg

流山市公式X（旧Twitter）
緊急性の高い行政情報をツイートします。
https://X.com/nag_anshinanzen
@nag_anshinanzen

防災行政無線・テレホンサービス
災害情報などの重要な情報を市内79箇の屋外スピーカーから放送します。放送内容が聞きづらい場合は、テレホンサービス（フリーダイヤル：0120-783170 ナガレヤマ サイナンゼロ）をご利用ください。

流山市ホームページ
流山市の公式ホームページです。施設や行政サービスの案内、イベント情報、観光情報などについても紹介しています。
https://www.city.nagareyama.chiba.jp/

dポタン
天気予報、警報や注意報、避難情報、避難所開設など
「dポタン」とは、地上デジタルテレビ放送などに対応したテレビのリモコンに付いているボタンの中の一つです。
放送中の番組に連動した情報や、天気予報・交通情報などさまざまな情報を配信するデータ放送に利用されています。
デジタルテレビのリモコンにあるボタンをクリック
地デジすべての放送局で使えます。

Yahoo!防災情報
アプリケーションを利用し、さまざまな防災情報をリアルタイムに配信
https://emg.yahoo.co.jp/
QRコードを読み取り、手順に従って登録してください。
IOS版　Android版

関係機関からの情報

国土交通省「川の防災情報（雨量や河川の水位）」
河川の水位や河川の映像がリアルタイムでわかります。
https://www.river.go.jp/index

千葉県防災情報ポータルサイト（雨量・水位情報）
最新の雨量・水位情報をお知らせします。
https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/

銚子地方気象台
今後の気象情報や発令中の気象情報を市町村ごとに確認できます。
https://www.data.jma.go.jp/choshi/

千葉県土砂災害警戒情報システム
土砂災害危険度や土砂災害警戒情報なども発信しています。
http://dosyabo.bousai.pref.chiba.lg.jp/chibaDosya/web/top/

浸水ナビ
「浸水ナビ」は、浸水想定区域図を電子地図上に表示するウェブサイトです。
https://suiboumap.gsi.go.jp/

重ねるハザードマップ
災害情報や防災に役立つ情報を全国どこでも重ねて閲覧できるWeb地図サイトです。

日頃からの心得・準備

天気予報や気象情報に気をつける
梅雨時期や台風シーズンなど、大雨が多い時期は、テレビやインターネット、ラジオなどで気象情報をこまめに確認しましょう。

家のまわりを点検・整備しておきましょう
家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは傷んでいないか確認をしておきましょう。

道路の側溝や雨水ますの点検をお願いします
雨水ますの取水口が落ち葉やごみで詰まると道路冠水の原因になります。普段から雨水ますの清掃にご協力ください。

普段から災害時要配慮者に気配りをしておきましょう
自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に一人暮らしの高齢者には気配りが必要です。普段から地域で水害時の避難所等を確認するなど、話し合っておきましょう。

災害時要配慮者
高齢者・障がい者・病弱者・妊婦・乳幼児・外国人など災害発生時に的確な行動がとりにくく、支援が必要となる方

避難所や避難路を確認しましょう
ハザードマップでお近くの避難所を確認し、安全な避難経路を把握しておきましょう。

身近な場所の危険箇所を調べておく
自分の家や勤め先、学校などが浸水想定区域内にあるか、確認しておきましょう。

冠水リスクが高い場所を確認しましょう
鉄道の高架下や地下空間など低くなっているところは、雨水が集中し冠水リスクが高いのであらかじめ確認しておきましょう。

土のうを準備しておきましょう。
いざというときのために水害リスクがあるお宅は、事前に土のうを準備しておきましょう。また、水で膨らむ水のうなどは、いざというときに便利ですので用意しておきましょう。
市で土のうを配布しているので事前に準備しておきましょう。
たくさんのご依頼があるため、配布後は自己管理をお願いしております。

事前にマイ・タイムラインを作成しましょう
マイ・タイムラインとは、水害や土砂災害の発生を想定し、[いつ]［誰が］［何をするか］を時系列にまとめた行動計画表です。マイ・タイムラインを作成し、いざという時に慌てずに行動できるようにしましょう。

マイ・タイムラインの作成用紙はこちらです。

避難時の心得

安全な避難路
避難所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全な避難路を通行しましょう。

火の元、戸締りを確認
避難指示が出たら、まずは火の元、戸締りを確認しましょう。

非常持ち出し品の事前準備を
避難する時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。

お年寄りなどの避難に協力を
お年寄りや子ども、病気の人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子ども、病気の人などの避難に協力しましょう。

正確な情報収集と自主的避難を
テレビ・ラジオなどで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

車での避難は控えて
避難所への自動車での避難は、緊急車両の妨げになりますので、車での避難は避けましょう。

避難の呼びかけに注意を
危険が迫った時には、市役所や水防団（消防団）から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。

丈夫な建物の上層階に避難（垂直避難）
避難所に避難できない場合は、マンションや店舗等の丈夫な建物の上層階に避難（垂直避難）しましょう。
災害時に一時避難施設として使用可能な緊急的な施設がありますので確認しておきましょう。

動きやすい格好、2人以上での避難
避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。長靴は危険ですので、ひもで締められる運動靴をはきましょう。また、水面下では、道路や側溝などの境目が分かりにくいことがあるため、長い棒を杖代わりにして、安全を確認しながら歩きましょう。

災害の「備え」チェックリスト

☑ 準備が出来たらチェックを入れよう！

非常用持ち出し袋　非常の際に持ち出すもの！

- □ 食品（ご飯（アルファ米など）、レトルト食品、ビスケットチョコ、乾パンなど：最低3日分の用意！）
- □ 水
- □ 上履き
- □ 携帯ラジオ（※手動充電式が便利）
- □ 洗面用具
- □ 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- □ 貴重品（通帳、現金、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカード）
- □ 携帯電話（スマートフォン）・携帯充電器
- □ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- □ 予備電池
- □ 歯ブラシ・歯磨き粉
- □ 衣類・下着
- □ 常用薬
- □ 使い捨てカイロ
- □ タオル
- □ 大きめのタオル
- □ レインウェア
- □ 懐中電灯（※手動充電式が便利）
- □ 携帯トイレ
- □ 軍手
- □ ペン・ノート
- □ ハザードマップ

感染症対策
- □ マスク
- □ 手指消毒用アルコール
- □ 石けん・ハンドソープ
- □ ウェットティッシュ
- □ 体温計

子どもがいる家庭の備え
- □ 液体ミルクなど
- □ 離乳食
- □ 子ども用紙おむつ
- □ お尻ふき
- □ 抱っこひも
- □ 子供の靴
- □ おむつ用ゴミ袋

備蓄品
- □ 食料や水（最低3日分！できれば1週間分）×家族分
- □ ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯トイレなど

女性の備え
- □ 生理用品
- □ おりものシート
- □ サニタリーショーツ
- □ 中身の見えないゴミ袋
- □ 防犯ブザー・ホイッスル
- □ 基礎化粧品

高齢者がいる家庭の備え
- □ 大人用紙パンツ
- □ 入れ歯・入れ歯用洗浄剤
- □ デリケートゾーンの洗浄剤
- □ 杖
- □ 持病の薬
- □ 老眼鏡

ペットがいる家庭の備え（※ペット同行避難の備え）
- □ キャリーバッグ
- □ 予備の首輪・リード
- □ ペットフード
- □ トイレ用品
- □ 薬

自助・共助・公助の連携

自助・共助・公助の連携

流域治水

対策の3本柱

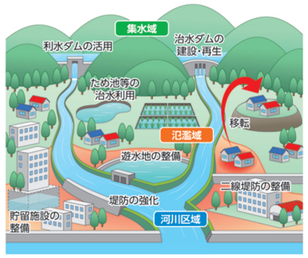
流域治水は、河川・下水道管理者等による治水対策に加え、国・地方自治体・企業・住民を含む流域全体のあらゆる関係者が主体となって水災害対策を行う考え方です。

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 集水域：ためる、しみこませる
  - 雨水貯留浸透施設の整備
  - ため池等の治水利用
- 河川区域：ためる
  - 治水ダムの建設・再生
  - 遊水地の整備、利水ダムの活用
- 安全に流す
  - 河床掘削等の整備
- 氾濫水を減らす
  - 堤防の強化

2. 被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域：よりリスクの低いエリアへ誘導
  - 移転促進
- 浸水範囲を減らす
  - 二線堤防の整備、自然堤防の保全



3. 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域：土地のリスク情報の充実
  - 水災害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信
- 避難体制を強化する
  - 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握
- 経済被害の最小化
  - 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定
- 住まい方の工夫
  - 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進
- 被災自治体の支援体制充実
  - 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化
- 氾濫水を早く排除する
  - 排水門等の整備、排水強化

【国土交通省 水管理・国土保全局「流域治水」の基本的な考え方」を基に一部改訂】